

第4回量子技術ワークショップ

量子情報処理技術は、金融、医療、材料、エネルギーといった幅広い分野において実用化が期待されています。しかし、その多くが未成熟な段階にあり、実用化に向け理論基盤をさらに強固にする必要があります。こうした背景のもと、量子技術高等教育拠点のめざすオープンサイエンスの考え方にに基づき、量子情報処理を支える理論的な取り組みについて、主に若手研究者を中心に情報の共有・議論を行い、理論研究への興味・理解の促進と人材育成を目的とし、本ワークショップを開催します。

日時：2024年2月21日 15:00-17:00

オンライン：Webex

参加ご希望の方は、2/9(金)までに、①お名前、②ご所属、③メールアドレスを nemoto-lab-recru@nii.ac.jp 宛てにお送りください。

プログラム

15:00 – 15:20 小林幸平 (NII)

「量子速度限界からみえてくるもの」

15:20 – 15:45 奥山真佳 (東北大)

「レプリカ法を通して見る行列値幾何ブラウン運動と平均場量子スピン系の関係」

15:45 – 16:10 田村賢太郎 (慶応義塾大)

「量子ランダムアクセスコードを用いた組合せ最適化の近似解とノイズの関係」

16:10 – 16:35 若桑江友里 (名古屋大)

「ランダムな量子状態の非典型性に対する Sanov 型の定理」

16:35 – 17:00 中田芳文 (京都大)

「量子誤り訂正の復号と相補性原理」